

科目名	資料組織論
科目分類	社会情報学部-司書課程
担当教員名	三澤 勝己
ローマ字	Misawa Katsumi

1. ねらい

情報化社会および生涯学習の時代を迎えた今日、図書館の役割はますます重要になっている。資料組織論とは、図書館で扱う様々なメディアを標準化された手法で組織化し、迅速・的確に収集・整理し、配架する一連の過程をいう。電子機器が急速に発達している現代において、書誌情報の特性を分析して、その利用方法を認識することは大切である。それらの理解のために、目録・分類・索引の発展過程や、目録データベースのシステム化の要点を論述する。これによって、新しい時代に対応できる情報リテラシーを備えた人物の養成を目標とする。

2. 内容

以下の順序で授業を展開する予定である。

1. 印刷メディアに関連する出版情報の特色
2. 主題書誌・索引・目録の特性
3. 目録の発展過程と世界の目録法の歴史
4. 目録システムを作成するための書誌データやアクセス・ポイント、目録フォーマットの各パターン
5. Japan/MARCなどの書誌データベースの検索
6. 図書分類の特色と日本十進分類法や国際十進分類法などの仕組み
7. シソーラス、キーワード検索、件名法などの特性

3. 評価

レポートを課すると共に、筆記試験を行う。それらと出席状況を勘案して、評価を加える。出席状況を20%、レポート・筆記試験を80%とする。

4. 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】木原通夫・志保田務『分類・目録法入門—メディアの構成—』（新改訂版第5版、第一法規、2007年）